

事業所名

ラフカwith

## 支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		「あなたに寄り添い、一緒に考え続けます」 障害のある方やその家族が楽しく暮らせるように、喜びや葛藤など様々な気持ちに寄り添い、一緒に踏ん張ったり時には休息したり、人生を分かち合えるような存在を目指しています。また、人と人とが深くつながり、どの人も名前呼びあえる、ぬくもりを感じられる地域をつくります。								
支援方針		療育を必要とする児童に対し、日常生活における基本動作等の習得および集団生活への適応に必要な支援を行い、児童とその家族の福祉の増進を図ることを目的とする。児童の特性を踏まえると共に、児童および保護者の意思を尊重した適切な療育プランを設計し、これに基づく療育活動を通して児童の健全な発達を促し、常に品質の高いサービスの提供を心掛けて活動する。サービスの提供にあたっては、学校、行政、地域と密接な連携を図る。								
営業時間		月～金	9 時	00 分から	15 時	00 分まで	定休日： 日・祝日・8/12～8/16・ 12/29～1/4	送迎実施の有無	あり	なし
		土	8 時	30 分から	15 時	30 分まで				
		※12:00～13:00を除く								
サービス提供時間		月～金	9 時	00 分から	15 時	00 分まで				
		土 AM	9 時	30 分から	11 時	10 分まで				
		土 PM	13 時	30 分から	15 時	10 分まで				
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルの獲得を目指し、身だしなみを整えることや自身の物の管理、衛生管理や健康に関する支援等を行う。健康状態の維持や改善にむけて、日々の戸外活動を通して、微細運動や粗大運動を意識した各種運動プログラムを実施する。生活のリズムや生活習慣の形成に寄与するため、規則正しい生活を導入し、あわせて構造化により生活環境を整える。								
	運動・感覚	身体の基本的な動作を身につけることを目的に、戸外および室内での運動プログラムやリズム体操を実施する。保有する感覚の総合的な活用を実現すべく、創作活動や戸外での土遊び、雪遊び等において、視覚や聴覚、触覚を刺激することを意識した内容を取り入れる。なお、環境設定時には、感覚過敏へ配慮を行う。								
	認知・行動	危険を認知したり適切な行動を習得したりすることを目標に、日々本人と向き合い、傾聴や対話の時間を設けていく。認知の発達にむけて、音楽を通じた活動や遊びを取り入れることで、五感の刺激を行う。								
	言語 コミュニケーション	指差しやサイン、身振り等を用いた表出を受け止めていくことで、意思の伝達の基礎を築いていく。言語の形成や受容を目的に、各種活動時には、話を聞く時間や発表のタイミングを取り入れる。コミュニケーションの基礎的な能力の向上を目指し、自由遊びを通して他児たちとの対話を支援していく。								
	人間関係 社会性	大人の動きを模倣しながら、良好な人間関係の築き方を知り、身につけていく。集団生活を通して、手順やルールの理解を促していくことで、社会性を身につけるための芽生えを支援していく。								
家族支援		登所時の様子を共有したり、気になることがあった際には詳細をやり取りしたりしていくことで、家族と日々連携しながら支援を行っていく。本人や家族の希望を理解し、支援に繋げていく。				移行支援		ライフステージにあわせた心や身体の変化について意識し、見守っていく。移行時ならではの支援内容が見つかった際には、家族や職員と共有しながら取り組んでいく。		
地域支援・地域連携		近所の公園や近隣のお店等での戸外活動を通して、地域の人々との交流を推進していく。				職員の質の向上		東京都や練馬区の研修センターなどを活用した外部研修への派遣、事業所内における計画的な研修の実施を通して、職員の質の向上を図る。		
主な行事等		誕生日会、子どもの日、七夕、ハロウィン、クリスマス会、節分、ひな祭り等								